

第5回福岡空港調査P I有識者委員会

議 事 要 旨

【開催日時】平成18年2月13日(月)15:00~16:10

【開催場所】福岡市立婦人会館 9階「大研修室」

【出席者】

(1) 委員 (委員長) 筑波大学社会工学系教授	石田 東生
西日本新聞社特別顧問	杉尾 政博
神戸大学工学部助教授	竹林 幹雄
公認会計士	土井良 延英

(2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	戸田 和彦
国土交通省大阪航空局飛行場部長	松本 清次
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
福岡市総務企画局理事	田代 政範

【資料】次第、出席者名簿、座席表

資料1	福岡空港調査P I (ステップ2) 実施計画(案)
資料2	福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ1) における 福岡空港調査P I 有識者委員会の助言への対応について

当日欠席の山本委員から提出された意見書

【議事要旨】

審議事項

- ・福岡空港調査P I (ステップ2) 実施計画(案) について福岡空港調査連絡調整会議(福岡県西村理事) から説明が行われた。
- ・委員会から次のような評価をされた。
福岡空港調査P I (ステップ2) 実施計画については、基本的にはステップ1 の実施計画を踏襲しながら、ステップ1 の実施によって得られた市民からの意見等を反映し、新たな手法の導入、県外を含めた情報提供範囲の拡大、さらには女性や若年層からの意見を収集するための工夫がなされているなど、ステップ1 での経験とノウハウが盛り込まれた進化が認められることから、本計画は適切なものであると評価された。
- ・委員から次のような助言が行われた。
P I レポート作成にあたっては、「地域の将来像と福岡空港の役割」と「航空需要の将来予測」について、市民の方と十分なコミュニケーションができるような分かりやすい示し方に努めること。特に「航空需要の将来予測」については、予測の前提条件とそれに対応した需要予

測結果を分かりやすく示すこと。

今回のP Iが、段階的に行われるP I手続きの中のステップ2であることを明確にし、提供する情報や収集される意見が他のステップと混用されないよう工夫すること。

P I実施にあたっては、P Iの各手法について、実施方法と実施のタイミングを工夫し、情報提供から意見収集に至る過程について適切な時間管理を行うこと。